

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【公表番号】特表2008-545591(P2008-545591A)

【公表日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【年通号数】公開・登録公報2008-050

【出願番号】特願2008-513890(P2008-513890)

【国際特許分類】

B 6 5 D 83/00 (2006.01)

B 6 5 D 85/00 (2006.01)

A 6 1 L 9/12 (2006.01)

A 0 1 M 1/20 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/00 F

B 6 5 D 85/00 A

A 6 1 L 9/12 C

A 0 1 M 1/20 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所望の時間にわたり揮発性液体(3)を周辺雰囲気中に分配するように適合された装置(1)であって、

雰囲気に対して単一の開口を有する貯蔵器(2)を含み、この開口は、装置が動作しているときには前記貯蔵器内の液体と接触していない透過性膜(4)で閉止されており、前記膜は、厚さが0.1~5mmであり、また前記膜は前記液体と直接接触すると、所望の期間にわたって蒸発するある量の液体を吸収することができる、前記装置。

【請求項2】

膜厚が、0.5~5mm、好ましくは0.2~3mm、より好ましくは0.6~2mm、最も好ましくは0.6~1.0mmである、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

膜の材料が、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリブテン、ポリスチレン、エチレン/プロピレンコポリマー類、エチレン/ヘキシレンコポリマー類、エチレン/ブテンコポリマー類、プロピレン/ブテンコポリマー類、エチレン/プロピレン/ブテンコポリマー類、およびエチレンまたはプロピレンとエチレン不飽和のモノカルボン酸とのコポリマー類からなる群から選択され、膜の材料は好ましくは充填材入りである、請求項1に記載の装置。

【請求項4】

膜が、微孔質の充填材入りポリオレフィンである、請求項3に記載の装置。

【請求項5】

膜の材料が、主として、少なくとも300,000の分子量(重量平均)、0.1未満の標準荷重メルトイソデックス、および4.0以上の還元粘度を有する8~100容量%のポリオレフィンと、1~92容量%の充填材と、1~40容量%の可塑剤との均質な混

合物からなる、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

充填材が、0.01から約20  $\mu\text{m}$  の範囲の平均粒度（直径）を有する、微粉シリカ（ケイ酸）であって、前記充填材の表面積が、30から950  $\text{m}^2/\text{g}$  の範囲、好ましくは少なくとも100  $\text{m}^2/\text{g}$  である、請求項3に記載の装置。

【請求項 7】

所望の時間にわたって揮発性液体を周辺雰囲気中に分配する方法であって、永久的に前記雰囲気に晒されない側の有孔質膜の面に、前記液体を供給することを含み、前記膜は、0.1～5 mmの厚さを有して、前記雰囲気に晒される側の前記膜の面から、所望の時間にわたって蒸発させるのに十分な液体を吸収することができる、前記方法。